

令和6年度 第1回 学術研究プラットフォーム運営・連携本部会議 議事要旨

日 時： 令和7年3月27日 15:30-17:30

場 所： Web 会議システム

議 事：

1. 議事要旨確認

黒橋本部長より、資料2に基づき説明があり、内容に意見があれば会議終了までにご意見いただくこととした承された。

2. SINET 民間トライアル利用のための申合せについて（審議事項）

鷹野学術基盤課長より、資料3に基づき、SINET 民間トライアルのための申合せの改正案、トライアル参加状況について説明があった。

本件は承認された。

3. 令和6年度 整備推進委員会報告

合田委員より、資料4に基づき令和6年度第2回整備推進委員会について報告があり、今回は東北大学と産業技術総合研究所の委員から活動事例紹介があった旨説明があった。

4. ネットワーク事業・運営委員会報告

栗本委員より、資料5に基づきネットワーク事業及び運営委員会について報告があった。

5. DX・クラウド推進事業・運営委員会報告

合田委員より、資料6に基づき、DX・クラウド推進事業及び運営委員会について報告があり、関連して以下の議論があった。

- ・ 利用者は機関単位を想定しているか。それとも研究室単位か。
 - 前者を想定している。
 - 研究室単位の利用が多いため、利用料金の集金方法に課題があるが、その点について検討しているか。
 - 共同調達は NII と大学組織で協定を結ぶため、研究者に直接提供するのは難しい。

6. セキュリティ運営委員会報告

南委員より、資料7に基づきセキュリティ運営委員会について報告があり、関連して以下の議論があった。

- ・ NII-SOCS 第3期の検討状況はどのようになっているか。
 - サービスを継続するには多くの課題があり、大学が自主的に運用できるように誘導することも検討している。

7. 情報セキュリティポリシー推進委員会報告

中村委員より、資料8に基づき情報セキュリティポリシー推進委員会について報告があり、関連して以下の議論があった。

- ・ GakuNinRDM の利用規約に関する指摘について、詳細は把握しているか。
 - 詳細の問い合わせは未実施である。
- ・ シャドウクラウドの問題については各大学でどの程度重要視されているか。
 - 基本的には大学で検討するものと考えている。
 - チェックリストの活用や事例集の作成による対応も考えられる。

8. 研究データ基盤運営委員会活動報告

山地委員より、資料9に基づき、研究データ基盤運営委員会及び作業部会について報告があり、関連して以下の議論があった。

- ・ 各大学のストレージと GakuNinRDM の接続について、大学とのディスカッション等は実施しているか。
 - 各地域のコンソーシアムで情報共有を行っている。

9. 学術認証運営委員会報告

佐藤委員より、資料10に基づき、学術認証運営委員会について報告があった。

10. 2024年度 学術情報基盤オープンフォーラム活動報告

鷹野学術基盤課長より、資料11に基づき、学術情報基盤オープンフォーラム活動について報告があった。

11. その他

本会議に関連して以下の意見があった。

- ・ SINET のエンド-エンド光パスについて、全ての DC に設備を準備するのは難しいと思うが、重要な DC から先行して行うことを想定しているか。
 - 各 DC に設置している WDM 装置を置き換えることで実現できないか検討している。要望のある DC や需要の大きい DC に絞って実現することも検討したい。
 - 機関側でも装置が必要なため、随時情報共有してほしい。
- ・ クラウド共同調達はどのくらいの契約期間を想定しているか。
 - まずはスモールスタートで、1 年契約から始めようと考えている。
 - 大学側では利用者からの集金方法が課題となっているため、一緒に検討したい。
 - 例えば、アカウントごとの利用状況の統計を出すことも検討したい。
 - 決済会社と連携して利用者からの支払いをまとめられるとよい。
 - リセラーも含めて一緒に議論したい。

次回開催日は後日事務局から案内する旨連絡があった。

以上